

1 右の年表を見て、次の各問いに答えなさい。

(1) ( ① ) にあてはまる人物を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 源 義経 みなもとのよしつね
- イ 藤原道長 ふじわらのみちなが
- ウ 平 清盛 たいらのきよもり
- エ 蘇我馬子 そがのうまこ

年	できごと
1167	( ① ) が太政大臣になる
1185	② 源 頼朝が国ごとに ( ② ), 私有地ごとに ( ③ ) をおく
1192	源頼朝が ( ③ ) になる
1203	④ 北条氏が幕府の実権をにぎる

(2) ( ② ) ～ ( ④ ) にあてはまることばを、次のア～エから1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 地頭 じとう
- イ 征夷大將軍 せいいたいしようぐん
- ウ 国司 こくし
- エ 守護 しゆご

(3) 下線部②が根拠地として武士の政治を始めた場所を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 木曾 きそ
- イ 鎌倉 かまくら
- ウ 京都 きょうと
- エ 奈良 なら

(4) 下線部④は何という役職を独占して、政治の実権をにぎりましたか。次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 執権 しつけん
- イ 摂政 せつしょう
- ウ 関白 かんぱく
- エ 遣唐使 けんとうし

2 次のア～エのうち、鎌倉時代の農業のようすにあてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 耕作は人の手だけで行っていた。
- イ 木製の農具で耕し、石包丁で稲の穂をつみとった。
- ウ 化学肥料を使うようになった。
- エ 稲のあとに麦を植える二毛作が西日本を中心に広まった。

(1)		ウ
(2)	①	エ
	②	ア
	③	イ
(3)		イ
(4)		ア

(1) 平安時代、源氏と平氏が争い、平氏が勝ちました。

(2) 国司は、奈良・平安時代に、朝廷から地方に派遣された役人です。

(3) 源氏はもともと東日本で勢力をもっていました。

鎌倉は、三方を山、一方を海に囲まれた守りやすい地形でした。

源頼朝がつくり上げた武士による政治のしくみを鎌倉幕府といいます。

(4) 執権は、鎌倉幕府における將軍の補佐役です。

北条氏は、形ばかりの將軍をたてて、実際の政治を行いました。

イ・ウは朝廷における天皇の補佐役です。

エ
---

鎌倉時代には、牛や馬を耕作に使うようになりました。また、鉄製のかまが広まりました。肥料には、草や木の灰を焼いたものが使われるようになりました。

